

# 電子納品検査システム 写管屋 XML ビューア マニュアル



電子納品検査システムの操作

03 ページへ



写管屋 XML ビューアの操作

37 ページへ

## 目 次

---

---

■電子納品検査システム.....	3
1 電子納品検査システムの概要.....	4
電子納品検査システムにて閲覧可能な要領（案） .....	5
2 電子納品検査システムを起動する.....	6
3 検査する工事を開く .....	7
(A) 検査する工事を切り替える .....	12
4 画面の表示設定と確認を行う.....	14
(A) 画面の表示設定を行う .....	14
(B) 図面ファイルの背景色を設定する .....	15
(C) バインダ情報ファイルを読み込む - 電子納品支援システムにて作成時と同じバインダ構成にする - .....	15
5 書類を検査する .....	17
(A) 関連資料（関連打合せ簿・図面・写真）と比較をしながら検査する .....	17
① 検査する書類を検索する .....	29
② 別のメディアにある書類を検査する - 複数枚のメディアを結合していない場合 - .....	30
(B) 書類のXML情報を確認する .....	31
① アシスタントを使用して書類ごとのXML情報を確認する .....	31
② 管理フォルダごとのXML情報を一覧で確認する .....	32
(C) 成果品のフォルダ・ファイル構成を確認する .....	33
(D) 写真閲覧で写真（PHOTO）フォルダの内容を確認する .....	34
6 電子納品検査システムを終了する.....	35

■写管屋XMLビューア.....	37
7 写管屋XMLビューアの概要.....	38
8 写管屋XMLビューアを起動する.....	39
9 フォルダを選択する.....	40
10 画面を設定する .....	42
(A) 分類ツリー・写真情報の表示 .....	42
(B) 画面の表示切替 .....	44
① 写真一覧を表示.....	44
(ア) 写真一覧タイトル切替 .....	45
(イ) サイズ切替 .....	45
(ウ) ファイル情報のヒント表示.....	46
② 写真の表示.....	47
11 データを閲覧する .....	48
(A) 写真の閲覧 .....	48
① サムネイルのマーク表示.....	48
② 写真の確認.....	49
③ 前の写真・次の写真の表示.....	50
④ 写真・参考図の表示切替.....	50
⑤ 写真の回転.....	50
⑥ 写真の比較.....	51
(B) 登録されている写真の枚数の確認 .....	52
12 写管屋XMLビューアを終了する.....	53

## 電子納品検査システム

## 1

# 電子納品検査システムの概要

「電子納品検査システム」は、各種適用基準に準拠するフォーマットで保存された電子納品データを検査・閲覧するためのアプリケーションです。

「電子納品支援システム」にて出力された電子納品データはもちろんの事、各種適用基準（次ページ参照）に基づいて、他社アプリケーションで保存された電子納品データも閲覧できます。

※PHOTO.XML 内の写真データの閲覧には「写管屋XMLビューア」が必要です。

検査時には「電子納品検査システム」と「写管屋XMLビューア」の両方をご用意することをお勧めします。

「電子納品検査システム」はデータのチェック機能、複数枚のメディアのデータを結合して取り込む機能、「電子納品支援システム」のバインダ情報の取り込み機能、書類を並べて表示する機能、検査状態（検査済・指摘あり）チェック機能、検査状態の履歴印刷・履歴データ出力機能、検査コメント機能等、検査作業の大幅な効率化が図れるアプリケーションとなっております。

## 電子納品検査システムにて閲覧可能な要領（案）

電子納品検査システムにて閲覧可能な要領（案）を一覧で確認できます。

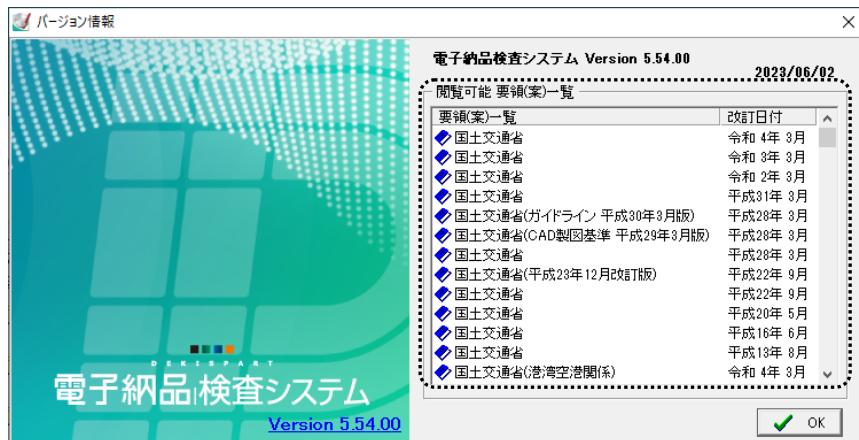
電子納品検査システムを起動し、工事を開いた後に確認が可能となります。

電子納品検査システムの起動方法は【6ページ「電子納品検査システムを起動する」参照】

工事の起動方法は【7ページ「検査する工事を開く」参照】

電子納品検査システム画面のメニューバーから「ヘルプ」→「バージョン情報」をクリックすると、バージョン情報画面が表示されます。

※ここに表記されているバージョン・日付は、お客様の画面と異なる場合があります。



画面右側で閲覧可能な要領（案）の確認ができます。

確認が終了したら、「OK」ボタンをクリックして終了してください。

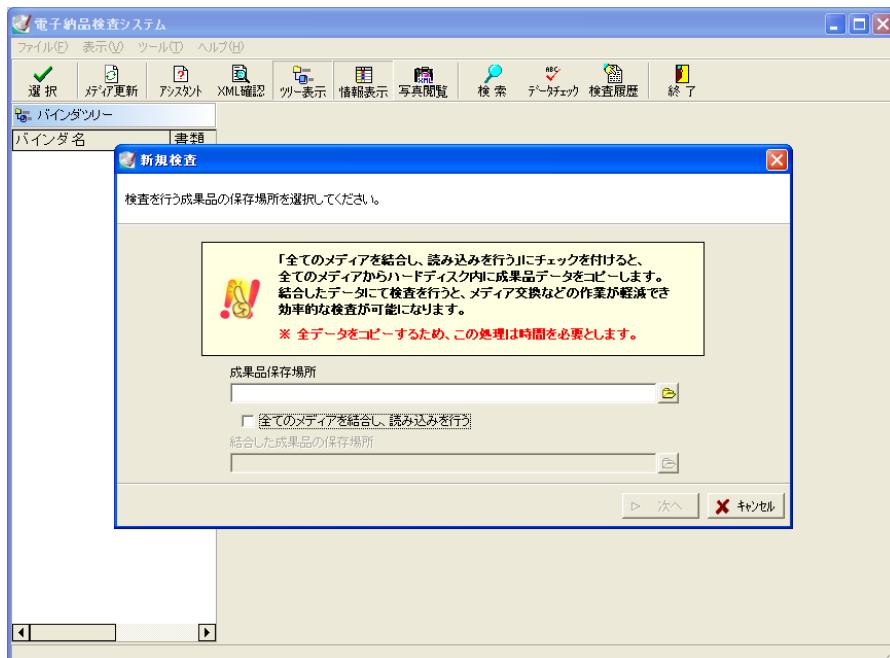
## 2 電子納品検査システムを起動する

電子納品検査システムを起動します。

Windows のスタートメニューから「すべてのプログラム（OSにより異なります）」→「電子納品検査システム」をクリック、またはデスクトップ上にある「電子納品検査システム」ショートカットをダブルクリックします。



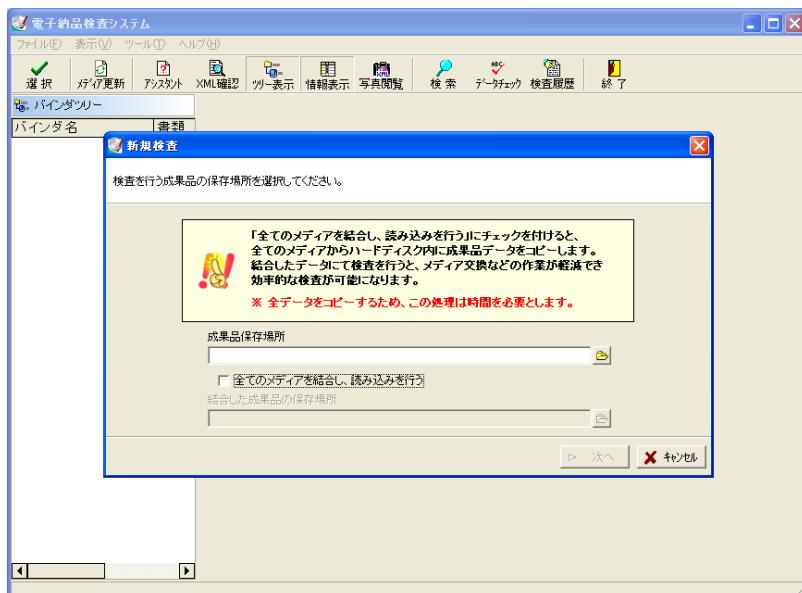
電子納品検査システムが起動します。



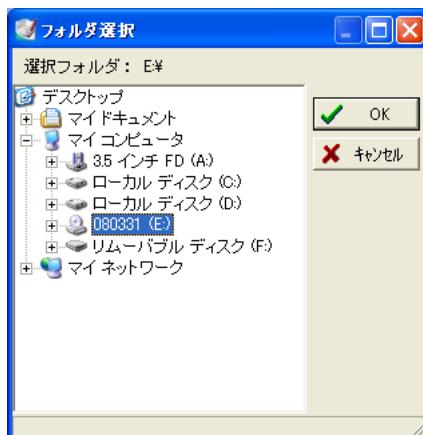
## 3 検査する工事を開く

検査する工事データを電子納品検査システムにて開きます。

電子納品検査システムを起動直後、新規検査画面が表示されます。

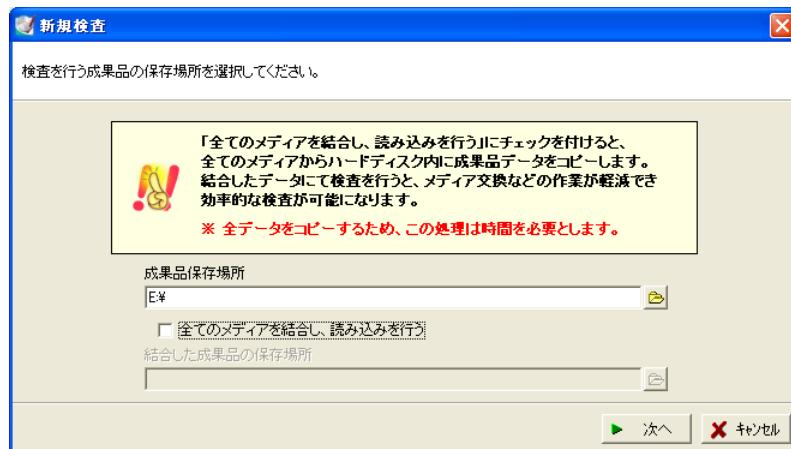


成果品保存場所欄の右側の ボタンをクリックし、フォルダ選択画面を表示します。



成果品を保存したフォルダまたはドライブを選択し、「OK」ボタンをクリックします。  
フォルダの選択を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

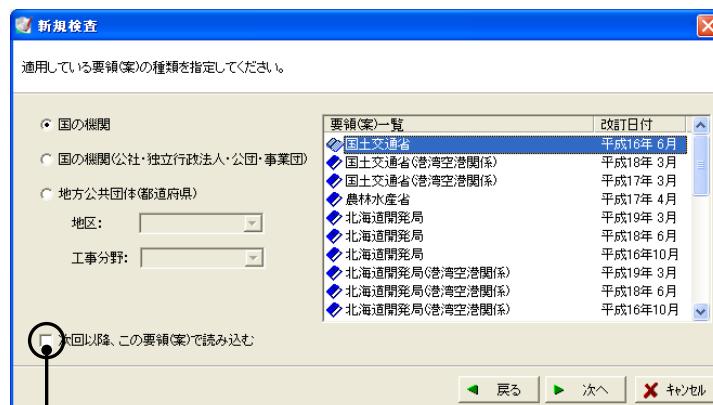
「OK」ボタンをクリックすると、新規検査画面に戻り、成果品保存場所欄にフォルダ選択画面で選択した場所が表示されます。



成果品保存場所の確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

「次へ」ボタンをクリックすると、適用している要領（案）の種類を指定する画面が表示されます。

※読み込む成果品に適用されている要領（案）によって、一覧の表示が異なります。



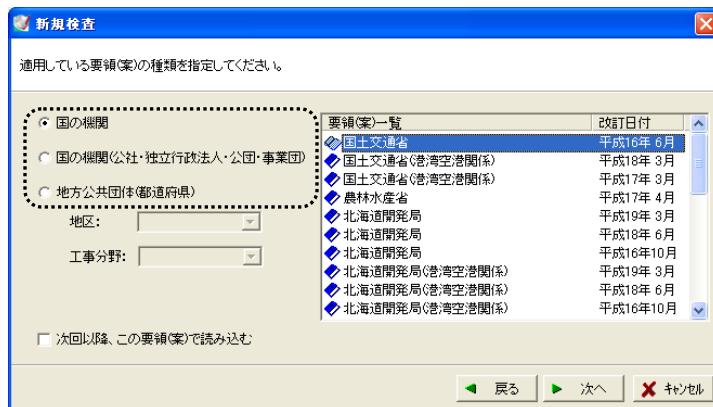
チェックを付けると、次回以降要領（案）を選択する画面が表示されなくなり、使用する要領（案）の確認メッセージのみが表示されます。

任意の要領（案）を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

要領（案）の選択方法は【9ページ「MEMO」参照】

要領（案）の選択方法は以下のようになります。

まず対象となる機関を「国の機関」「国の機関（公社・独立行政法人・公団・事業団）」「地方公共団体（都道府県）」から選択します。



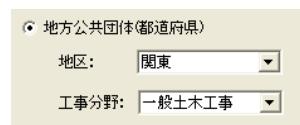
### ●国の機関・国の機関（公社・独立行政法人・公団・事業団）を選択した場合

画面右側の要領（案）一覧から任意の要領（案）をクリックし選択します。

### ●地方公共団体（都道府県）を選択した場合

始めに「地区」を指定し、次に「工事分野」を指定します。

※それぞれドロップダウンボタンをクリックし、表示される一覧から任意のものを指定してください。



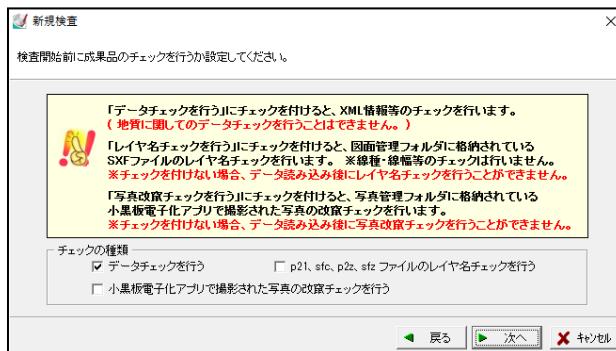
「地区」と「工事分野」を指定すると、画面右側の要領（案）一覧に対象の要領（案）が表示されます。一覧から任意の要領（案）をクリックし選択してください。

注) 発注元の要領（案）が一覧にない場合は、背景色が付いている要領（案）の中から選択してください。



要領（案）を選択して「次へ」ボタンをクリックすると、成績品のチェックを行うか設定する画面が表示されます。

※選択している要領（案）によっては表示されません。



チェックの種類欄から任意の項目にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします。

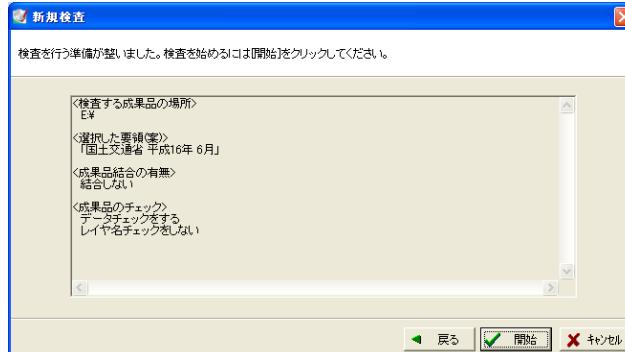
※図面ファイル（p21、sfc、p2z、sfz）のレイヤ名チェックを行う場合は、「p21、sfc、p2z、sfzファイルのレイヤ名チェックを行う」にチェックを付けてください。

チェックを付けない場合は、データ読み込み後にレイヤ名チェックを行う事ができません。

※小黒板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う場合は、「小黒板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う」にチェックを付けてください。

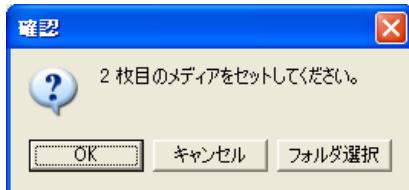
チェックを付けない場合は、データ読み込み後に写真改竄チェックを行う事ができません。

「次へ」ボタンをクリックすると、検査を行う準備が整った事を知らせる画面が表示されます。



内容を確認し、「開始」ボタンをクリックします。

データが複数のメディアに分かれている場合は、下記のメッセージが表示されます。

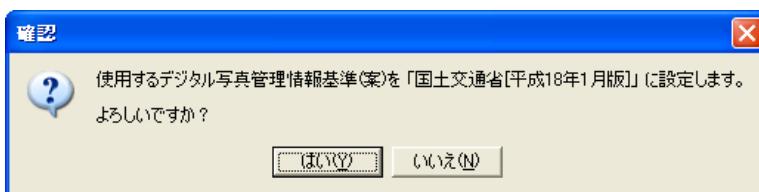


次のメディアをドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックします。

Disk フォルダが複数ある場合は、「フォルダ選択」ボタンをクリックし、次のDisk フォルダを選択してください。

選択しているメディアに写真のデータが保存されている場合、適用基準（案）設定を確認するメッセージが表示されます。

※下記のメッセージは、写真(PHOTO)データが保存されている場合のみ表示されます。



写真管理情報基準（案）の変更を行わない場合は、「はい」ボタンをクリックします。

写真管理情報基準（案）の変更を行う場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

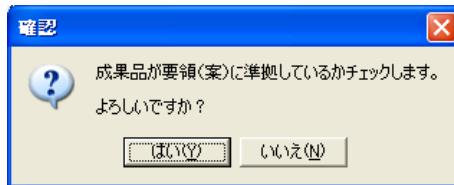
適用基準（案）選択画面が表示されたら、任意のものに設定し直します。

設定が終了すると、データの読み込みが行われます。

成果品のチェックを行う設定をした場合はデータのチェックが行われ、チェック結果に応じた情報メッセージが表示されます。

## MEMO1

選択している要領（案）によっては以下のメッセージが表示される事があります。



「はい」ボタンをクリックすると、成果品の内容（フォルダ構成やXML情報等）が選択した要領（案）に準拠しているかチェックします。

「いいえ」ボタンをクリックすると、成果品の検査を行わず、電子納品検査システム画面が表示され、データの読み込みが行われます。

## MEMO2

データの読み込み設定中に1つ前の画面に戻る、またはデータ読み込みを中止する事ができます。

### ●データ読み込み設定中に1つ前の画面に戻る場合

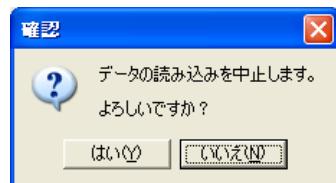
各設定画面で「戻る」ボタンをクリックしてください。

### ●データ読み込みを中止する場合

各設定画面で「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

右記のメッセージが表示されます。

「はい」ボタンをクリックすると、データの読み込みを中止し、電子納品検査システムを終了します。



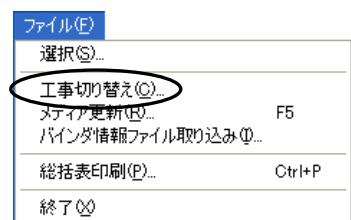
## (A) 検査する工事を切り替える

他の工事の検査を行う場合の工事の切り替え方法を説明します。

メニューバーの「ファイル」→「工事切り替え」をクリックします。

新規検査画面が表示されるので、検査する工事の選択を行ってください。

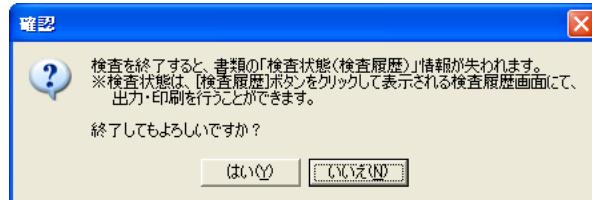
詳細は【7ページ「検査する工事を開く」参照】



# MEMO

## ●検査済書類がある場合

検査済書類がある状態で工事の切り替えを行うと、確認メッセージが表示されます。



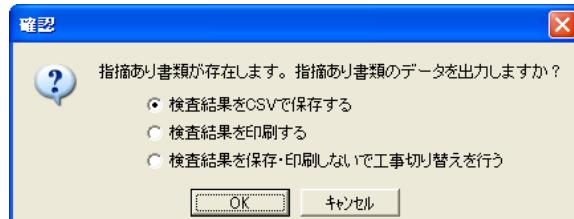
工事の切り替えを行うと、書類の検査状態の情報がすべて失われるため、必要であれば情報の出力を行ってください。

「はい」ボタンをクリックすると、工事の切り替えを実行します。

「いいえ」ボタンをクリックすると、工事の切り替えを中止します。

## ●指摘あり書類がある場合

指摘あり書類がある状態で工事の切り替えを行うと、確認メッセージが表示されます。



現在の工事を再度読み込んでもすべての書類の検査状態が「- (ハイフン)」に戻ってしまうため、指摘あり書類がある状態で工事の切り替えを行う場合は、「検査結果をCSVで保存する」または「検査結果を印刷する」のどちらかで出力を行い、記録を残してから切り替える事をお勧めします。

選択をしたら、「OK」ボタンをクリックします。

工事の切り替えを中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

## 4

# 画面の表示設定と確認を行う

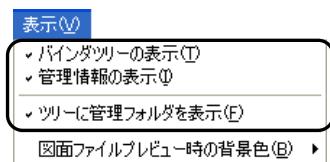
画面の表示設定を行ったり、バインダの表示を電子納品支援システムと同じバインダ構成にする事ができます。

## (A) 画面の表示設定を行う

画面の表示を任意で設定して確認をしやすくします。

メニューバーの「表示」をクリックすると、

- ①バインダツリーの表示
- ②管理情報の表示
- ③ツリーに管理フォルダを表示



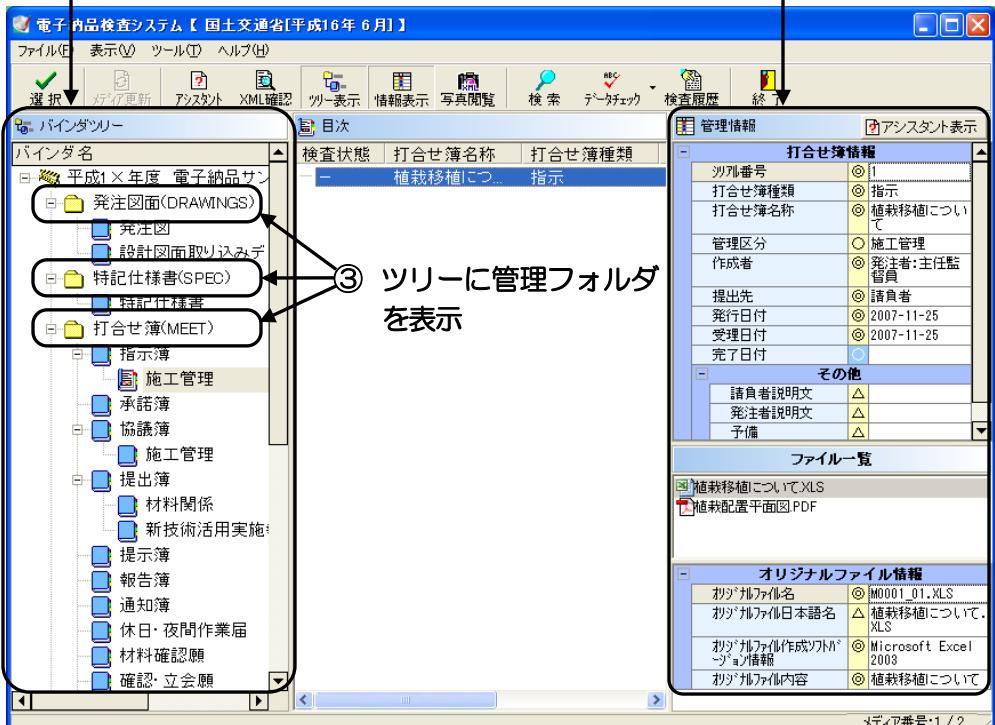
のメニューが表示されます。

それぞれのメニューをクリックしてチェックを付けると、画面に表示されます。

※「バインダツリーの表示」「管理情報の表示」は、電子納品検査システム画面上にボタンがあります。



### ① バインダツリーの表示



### ② 管理情報の表示



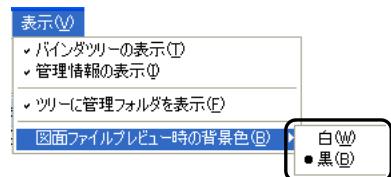
### ③ ツリーに管理フォルダを表示

## (B) 図面ファイルの背景色を設定する

図面ファイルをプレビューする際の背景色を設定する事ができます。

メニューバーの「表示」→「図面ファイルプレビュー時の背景色」をクリックし、「白」「黒」のどちらかをクリックして「●」を付けます。

初期状態は、「黒」が選択されています。



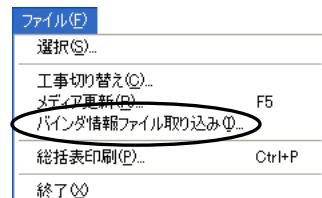
## (C) バインダ情報ファイルを読み込む

– 電子納品支援システムにて作成時と同じバインダ構成にする –

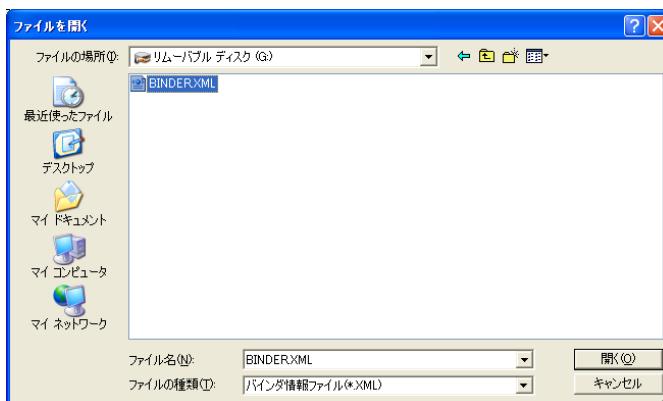
電子納品支援システムにてバインダの情報をXML出力した場合、XMLデータを電子納品検査システムで読み込むと、電子納品支援システムにて作成時と同様のバインダ構成で検査・閲覧ができます。

※成果品の直下にバインダ情報ファイルが保存されている場合、工事を読み込んだ際に自動でバインダ情報が読み込まれます。

メニューバーの「ファイル」→「バインダ情報ファイル取り込み」をクリックします。



ファイルを開く画面が表示されます。



ファイルの場所欄のドロップダウンボタンをクリックし、表示される一覧からファイルを保存したフォルダを選択します。

フォルダの選択をしたら、バインダ情報ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックしてください。

読み込みを中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

※読み込んでいる工事とバインダ情報ファイルが異なる場合、下記のメッセージが表示されます。



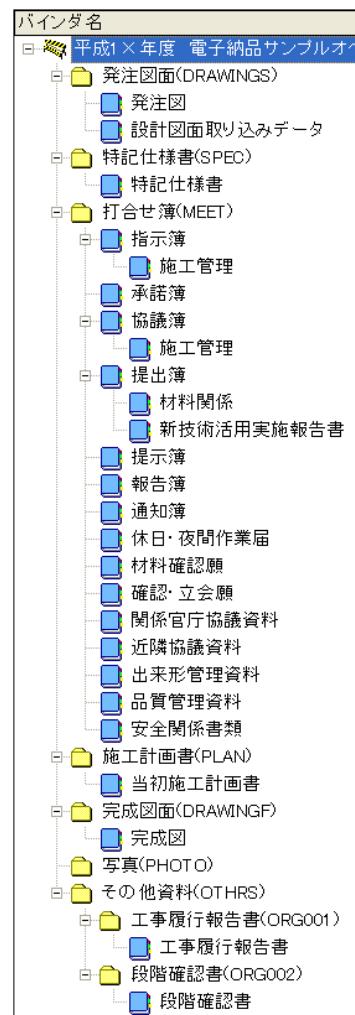
「OK」ボタンをクリック後、読み込んでいる工事とバインダ情報ファイルの確認を行ってください。

#### 例) バインダ表示の違い

<バインダ情報ファイル読み込み前>



<バインダ情報ファイル読み込み後>



※バインダ情報のファイルを読み込む前は、各管理情報（XML情報）に記入された内容から自動的にバインダを作成しています。

## 5 書類を検査する

書類の検査を行います。

また、検査を行う際に有効な機能についての説明を行います。

### (A) 関連資料（関連打合せ簿・図面・写真）と比較をしながら検査する

関連資料（関連打合せ簿・図面・写真）と比較をしながら、書類の検査を行います。

#### 書類検査の簡単な流れ

①検査する書類をクリックにて選択し、「選択」ボタンをクリックします。

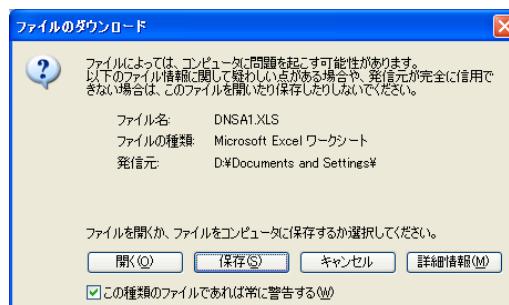
書類をダブルクリックしても同様です。

※この時点では、まだ検査を行っていないため、検査状況が「- (ハイフン)」となっています。



※お使いの環境によっては、ファイルのダウンロード画面が表示されます。

また、画面の内容も異なります。



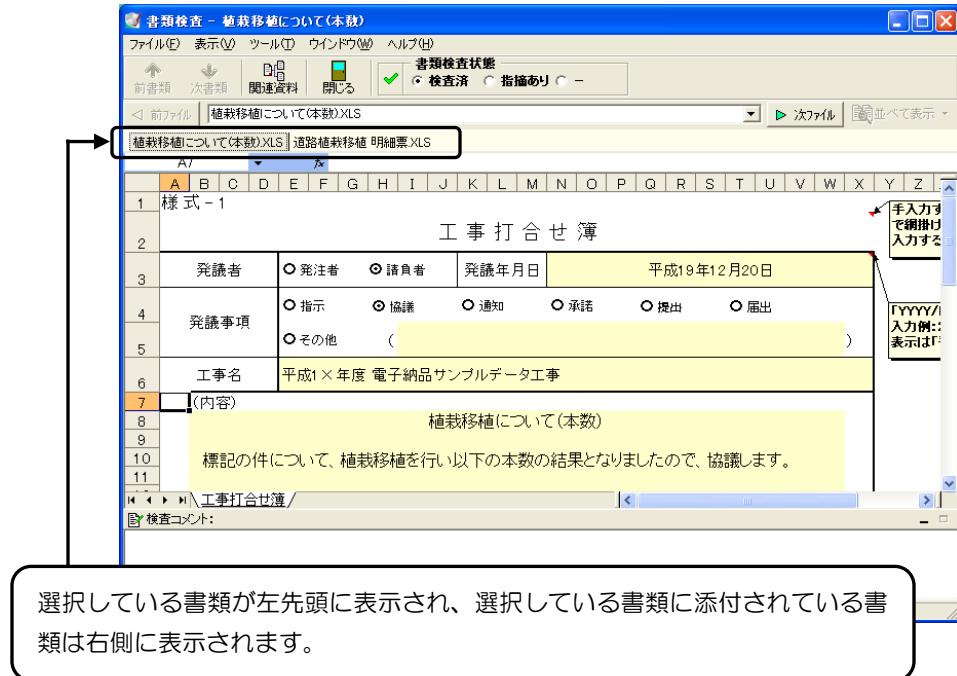
「開く」ボタンをクリックすると、選択している書類を開きます。

「保存」ボタンをクリックすると、選択している書類の保存を行います。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、書類の読み込みを中止します。

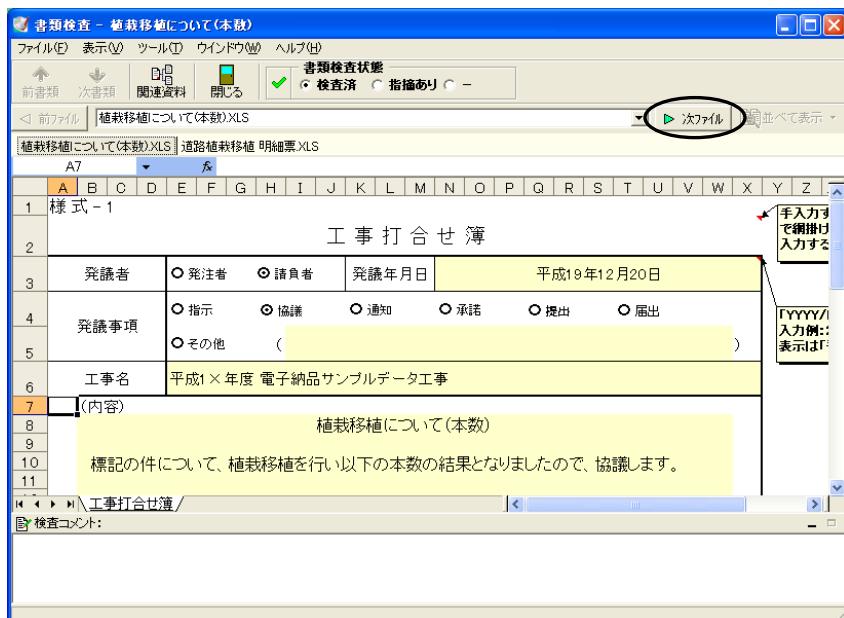
「詳細情報」ボタンをクリックすると、Microsoft Internet Explorer が起動します。

②「選択」ボタンをクリックすると、書類検査画面が表示され、選択した書類（打合せ簿）の確認が行えます。

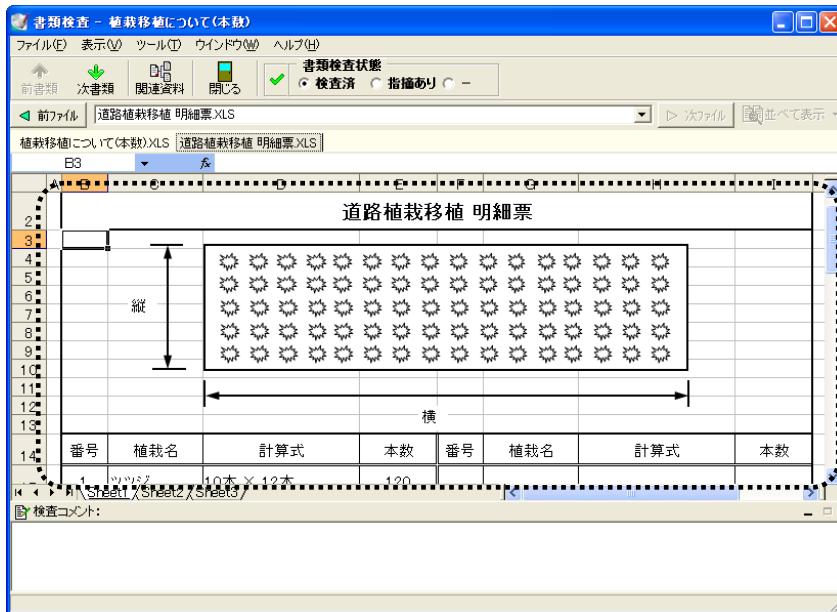


③選択している書類に添付されている書類の確認を行います。

「次ファイル」ボタンをクリックしてください。

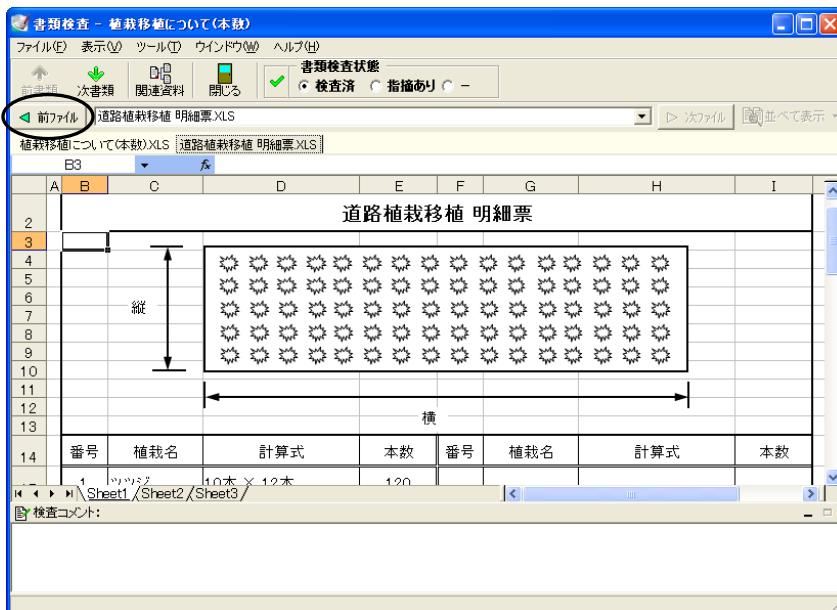


添付書類の確認が行えます。

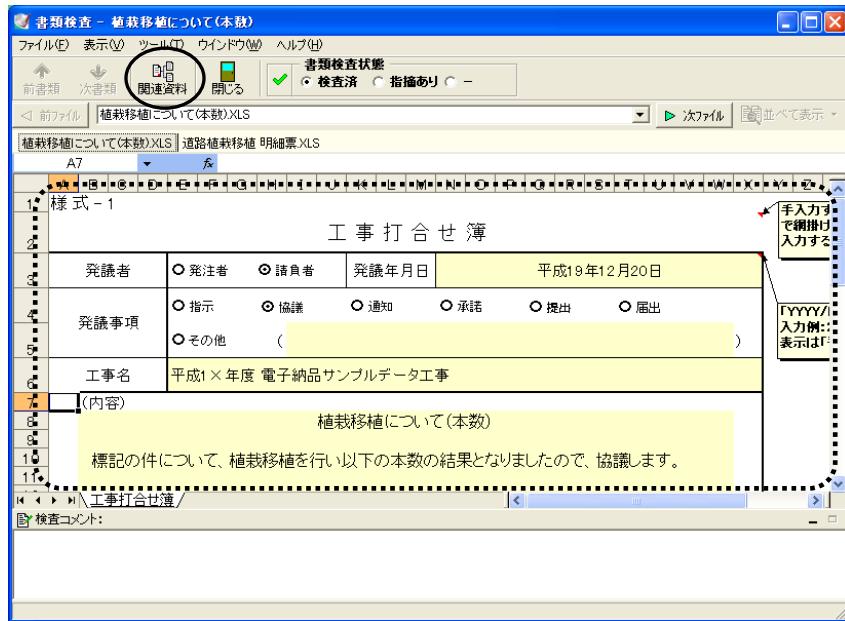


④関連資料の確認を行います。

関連資料の確認の際に、はじめに打合せ簿の比較を行うため、「前ファイル」ボタンをクリックし、プレビューに打合せ簿を表示してください。

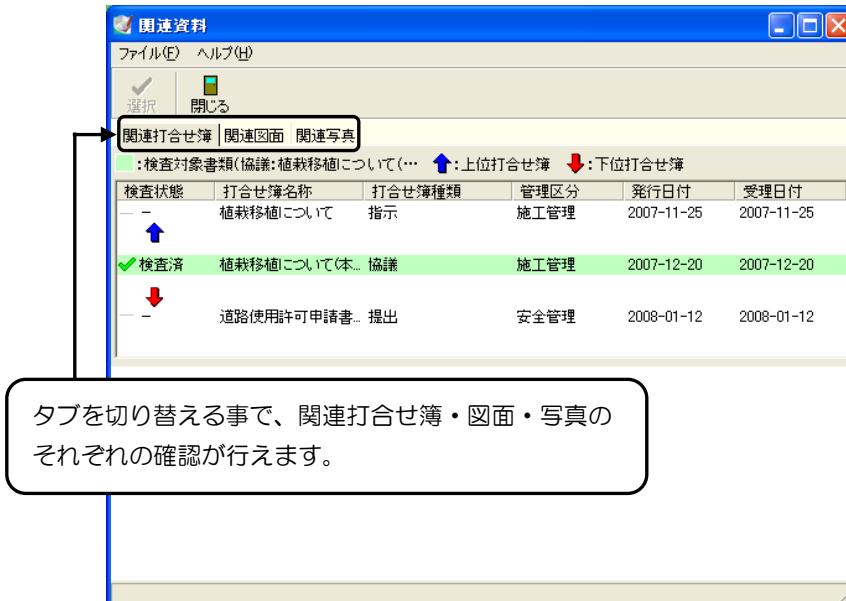


プレビューに打合せ簿が表示されたら、「関連資料」ボタンをクリックします。

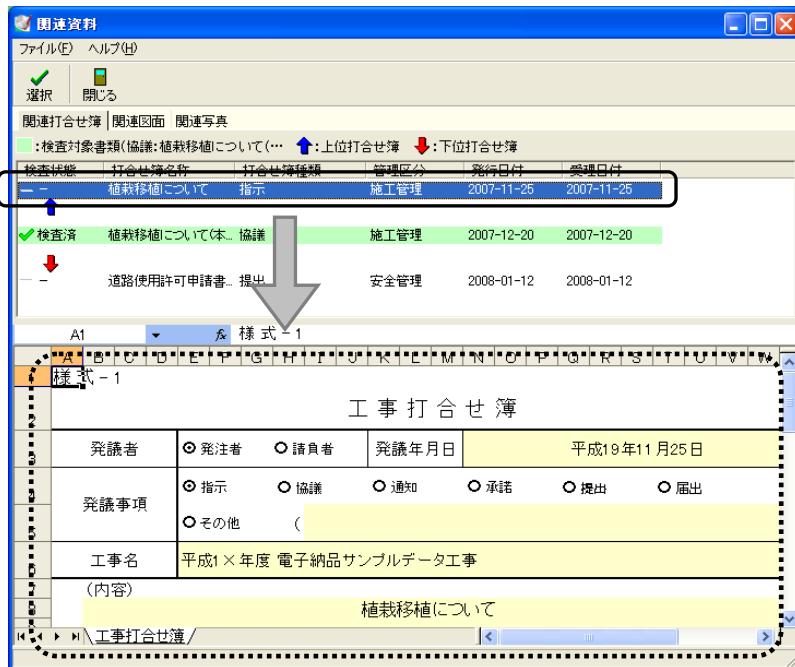


⑤関連資料画面が表示されます。

ここでは、打合せ簿に関連付けされた資料（上位打合せ簿・下位打合せ簿）の確認ができます。

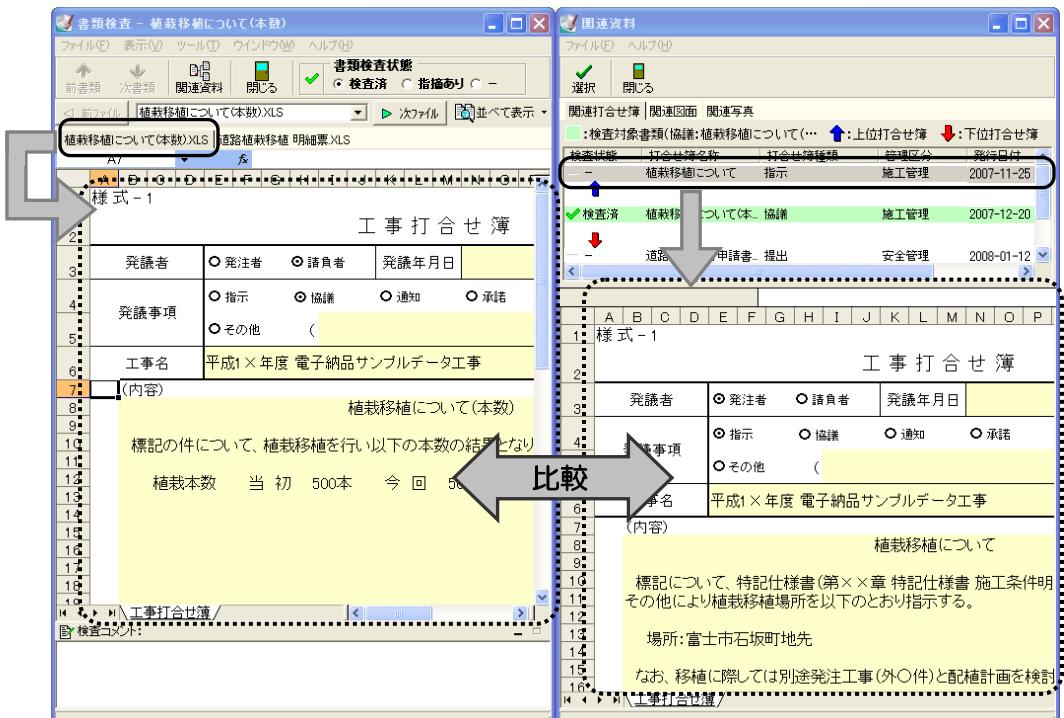


確認を行う関連資料の上でクリックをすると、画面下にプレビューが表示されます。



書類検査画面の打合せ簿と関連資料画面のプレビューの内容を比較してください。

書類検査画面の「並べて表示」ボタンをクリックすると、画面が以下のように表示されます。【26ページ「画面を並べて表示する」参照】



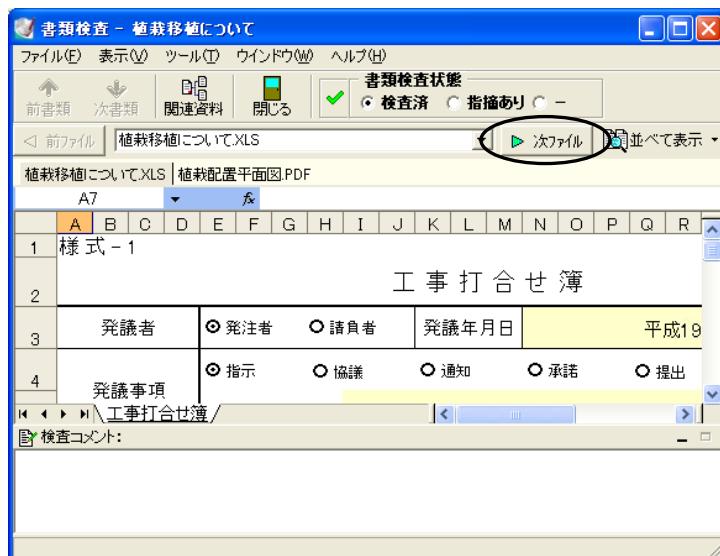
⑥それぞれの添付書類の比較を行います。

関連資料画面の「選択」ボタンをクリックします。

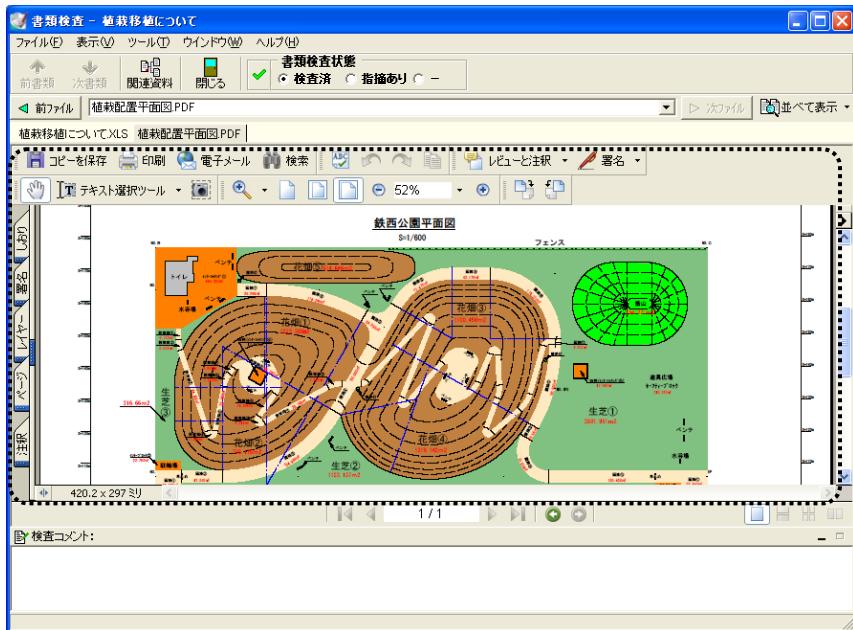


書類検査画面が表示されます。

それぞれの添付書類の比較を行うので、「次ファイル」ボタンをクリックします。



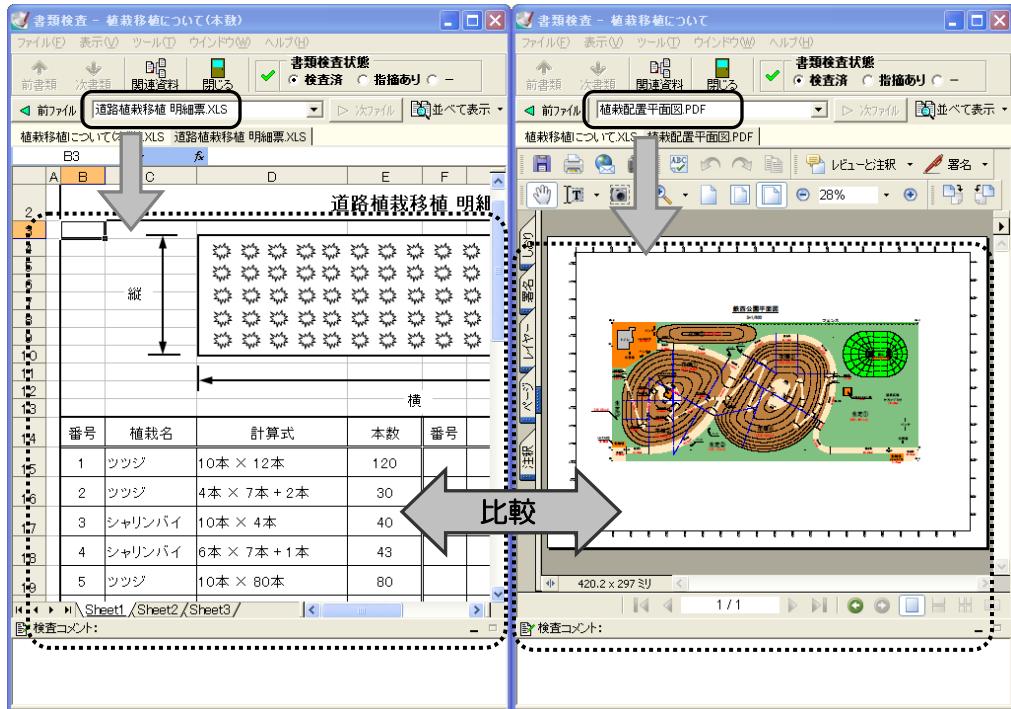
添付書類の内容がプレビュー表示されます。



同様にもう1つの書類検査画面の添付書類をプレビューに表示します。

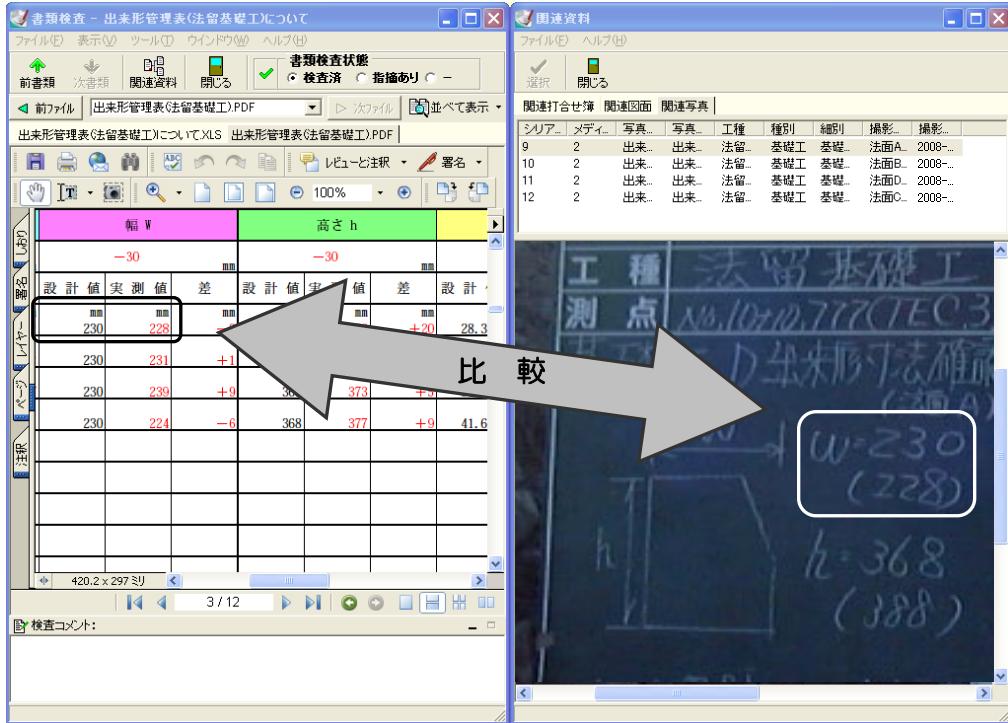
それぞれの添付書類を表示したら、内容の比較を行ってください。

書類検査画面の「並べて表示」ボタンをクリックすると、画面が以下のように表示されます。【26ページ「画面を並べて表示する」参照】



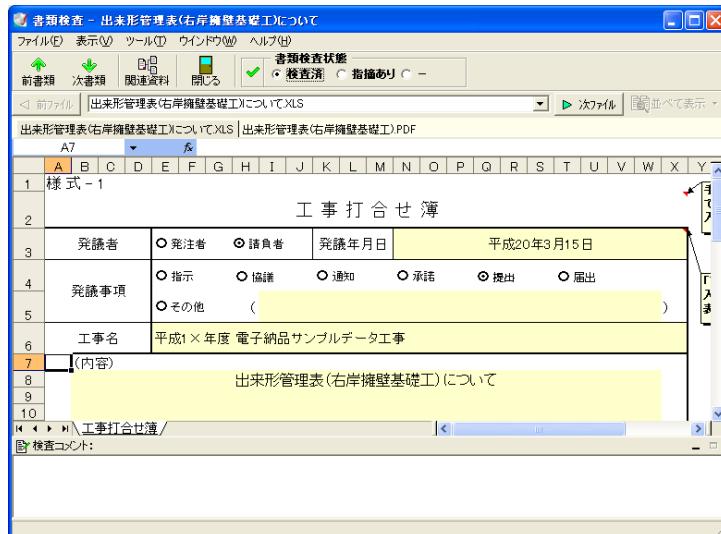
MEMO

以下のように添付書類と写真データを比較してプレビュー表示し、内容の確認を行う事が可能です。



## 書類検査画面の機能

書類検査画面の機能を説明します。



### 前書類／次書類の表示

選択している書類の同階層のバインダに複数書類が登録されている場合、「前書類」「次書類」ボタンにて検査する書類の切り替えが行えます。

※選択している書類の同階層のバインダに複数書類が登録されている場合のみボタンが有効になります。

### 前ファイル／次ファイルの表示

選択している書類に添付書類が登録されている場合、「前ファイル」「次ファイル」ボタンにて検査する書類の切り替えが行えます。

※選択している書類に添付書類が存在する場合のみボタンが有効になります。

### 関連資料の確認

「関連資料」ボタンをクリックすると、選択している書類に関連付けされている書類の確認が行えます。【17ページ「書類検査の簡単な流れ」参照】

※選択している書類に関連資料が存在する場合のみボタンが有効になります。

### 書類検査状態の選択

書類の検査状態を選択します。



✓ 「検査済」 · · · · · 書類に問題がなかった場合に選択します。

✗ 「指摘あり」 · · · · 書類に問題があった場合に選択します。

— 「— (ハイフン)」 · · 書類の確認を行っていない場合に選択します。

ここで書類の検査状態を設定すると、電子納品検査システム画面の目次欄に「✓ 検査済」「✗ 指摘あり」「— (ハイフン)」と書類の検査状態が表示されます。

### 画面起動時の検査状態の設定

検査状態が「－（ハイフン）」の書類を書類検査画面起動時に自動的に「検査済」にする、または書類の検査後に手動で「検査済」にするかを設定します。

メニューバーの「ツール」→「画面起動時の検査状態」をクリックすると、「検査済」「－（ハイフン）」が表示されます。任意でどちらかを選択し、●印を付けてください。



### 検査コメントの入力

書類検査画面下の検査コメント欄にコメントの入力が行えます。

検査をした書類が指摘ありの場合、コメントを入力しておくと、書類を修正する際に修正内容の確認が簡単に行えます。

### 画面を並べて表示する

書類検査／書類検査画面、書類検査／関連資料画面の組み合わせで、左右に並べて表示します。

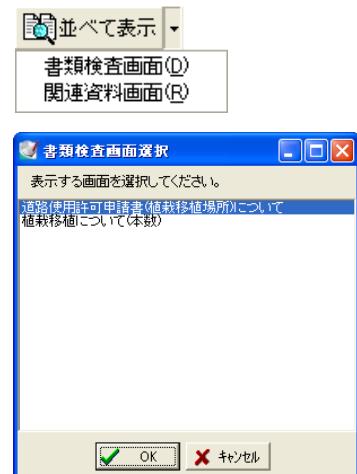
「並べて表示」ボタン右の▼ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。

並べて表示する画面名の上でクリックしてください。

※起動している画面が3画面以上ある場合は、右記の書類検査画面選択画面が表示されます。

並べて表示する書類を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、左右に並べて表示を中止します。



### 他の書類検査画面を表示する

書類検査画面を複数起動している場合、表示する書類の切り替えを行います。

メニューバーの「ウィンドウ」→「他の書類検査画面を表示」をクリックします。

【前項目「書類検査画面選択」参照】

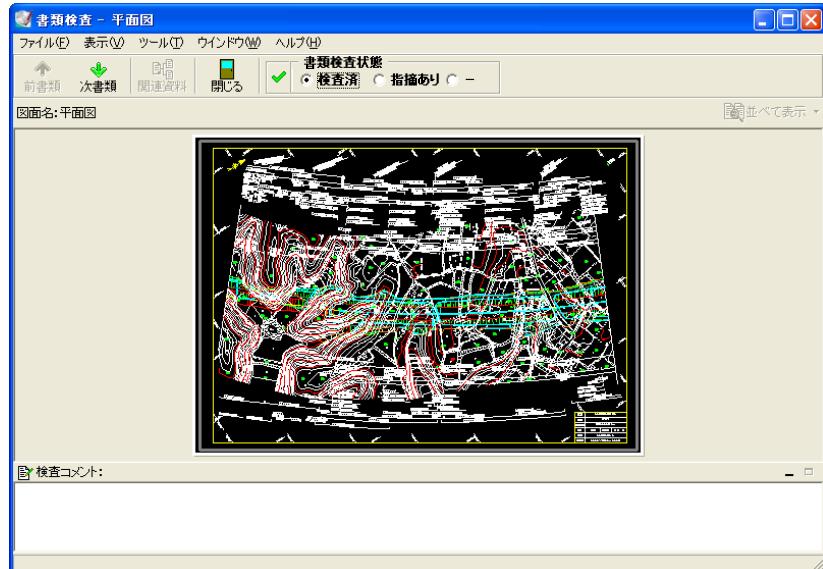


### 書類検査画面の終了

「閉じる」ボタンをクリックすると、書類検査画面を終了します。

MEMO

図面および写真のプレビュー画面の拡大・縮小方法の説明をします。



### ●拡大・縮小には、2種類の方法があります。

1. カーソルを図面に合わせると、虫眼鏡のマークに変わります。

左クリックすると、マウスポインタを中心拡大され、右クリックすると縮小されます。

2. 図面上でツインドラッグをすると、部分拡大等を行う事ができます。

- 左上から右下・・・ツインドラッグした部分が拡大表示されます。

ドラッグ時に印は表示されません。 作図範囲全体表示

全体表示（写真）

用紙全体表示  
全体表示（写真）

- 右上から左下・・・1つ前の表示状態に戻ります。

ドラッグ時に  印が表示されます。



- 右下から左上・・・作図範囲全体を表示または写真を画面

いっぱいに表示します。

ドラッグ時に  印が表示されます。

- 左下から右上・・・用紙全体を表示または写真を画面いっ

ぱいに表示します。

ドラッグ時に  印が表示されます。



範囲拡大



※ツインドラッグ → マウスの右ボタン・左ボタンを同時に押しながらドラッグする事です。

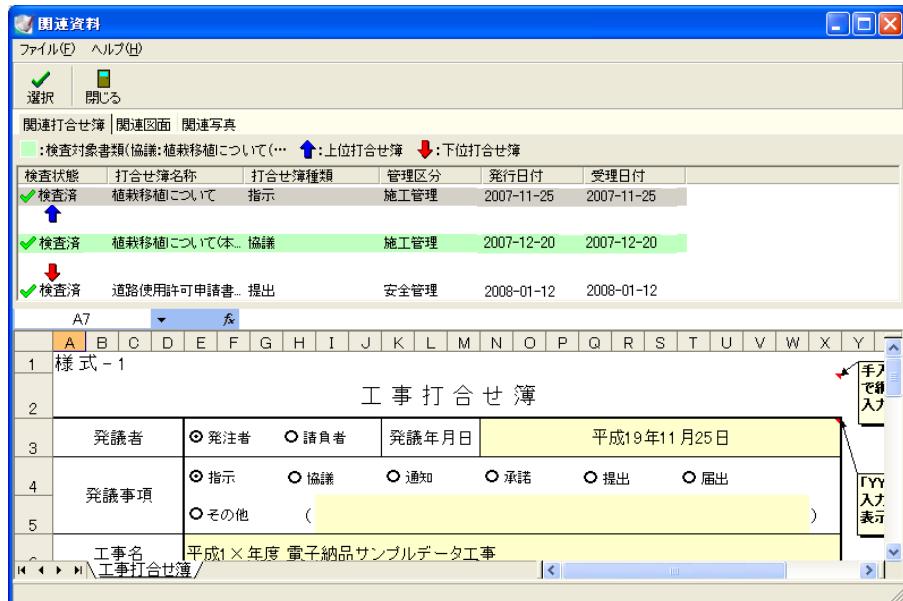
### ●拡大中の図面および写真の移動には、2種類の方法があります。

1. 左ドラッグにて任意の位置に移動する事ができます。

2. スクロールバーより任意の位置に移動する事ができます。

## 関連資料画面の機能

関連資料画面の機能を説明します。



## プレビューに関連資料を表示する

関連資料の上でクリックすると、プレビューに内容が表示されます。

### 関連資料の選択

「選択」ボタンをクリック、または関連資料の上でダブルクリックすると、選択されている関連資料の書類検査画面が表示され確認が行えます。

### 関連資料画面の終了

「閉じる」ボタンをクリックすると、関連資料画面を終了します。

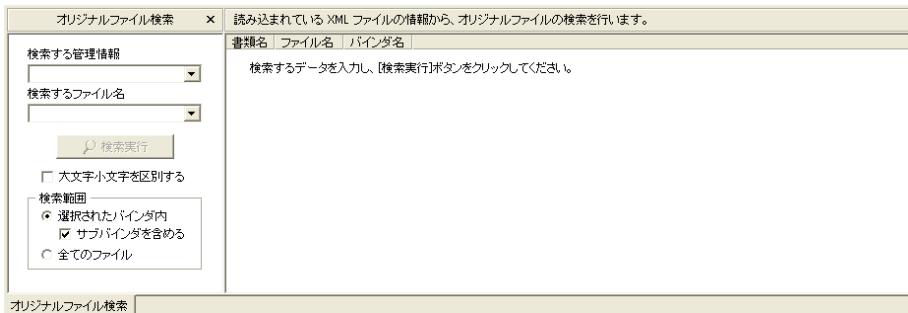
## ① 検査する書類を検索する

検査する書類の検索を行います。

電子納品検査システム画面の「検索」ボタンをクリック、または  
メニューバーの「ツール」→「検索」をクリックします。



電子納品検査システム画面下にオリジナルファイル検索が表示されます。



バインダを指定して検索する管理情報欄または検索するファイル名欄に任意の文字を入力し、検索を行います。

ドロップダウンボタンをクリックすると、前回入力した履歴が表示されます。

「大文字小文字を区別する」にチェックを付けると、検索の際に大文字と小文字の区別をし、検索されます。

検索範囲では、「選択されたバインダ内」「全てのファイル」のどちらかから選択することができます。

「選択されたバインダ内」・・・現在選択中のフォルダ・バインダ内のみ検索を行います。

「サブバインダを含める」にチェックを付けると、選択しているフォルダ・バインダの下階層のバインダ内を検索します。

※バインダツリー欄でフォルダを選択している場合は、「サブバインダを含める」に必ずチェックを付けてください。

「全てのファイル」・・・現在選択中の工事内の全てのファイルを検索します。

検索結果のファイルをダブルクリックすると、登録されているファイルにカーソルが移動します。

## ② 別のメディアにある書類を検査する

### － 複数枚のメディアを結合していない場合 －

別のメディアにある書類の検査を行う場合は、メディアの交換を行い、最新の情報に更新しなければなりません。

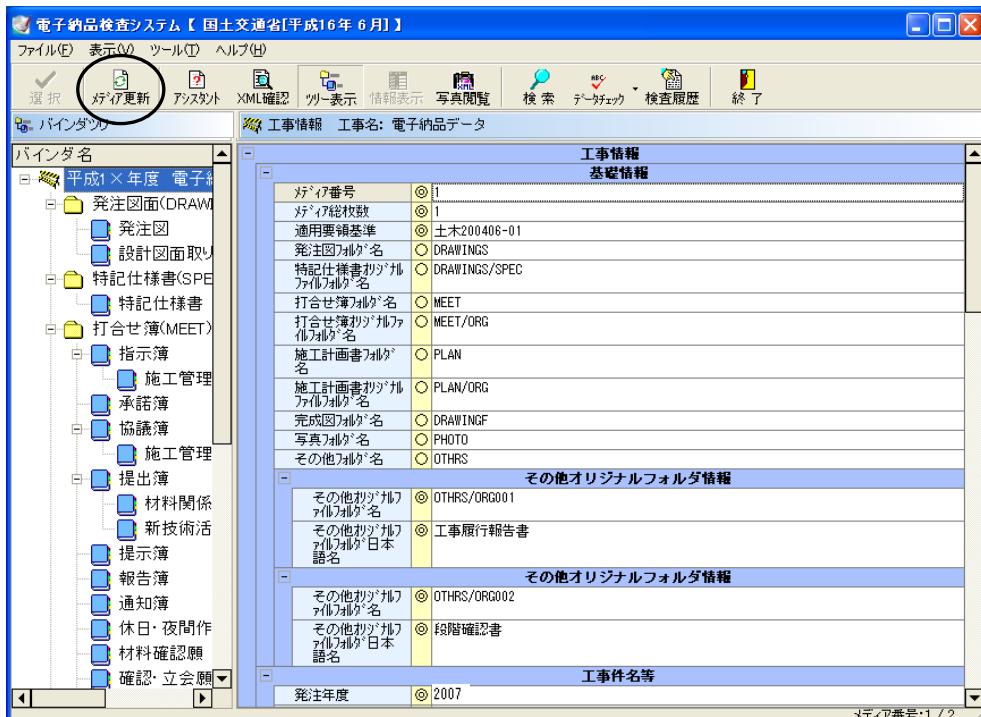
※複数枚のメディアの場合、データの結合を行うとメディアの交換をする必要がなくなるため、効率よく検査を行えます。

現在挿入されているメディアにファイルが存在しない場合、以下のようなメッセージが表示されます。



メッセージに表示されているメディア番号を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

続いて、メディアの交換を行い、電子納品検査システム画面の「メディア更新」ボタンをクリック後、再度、書類の選択を行ってください。



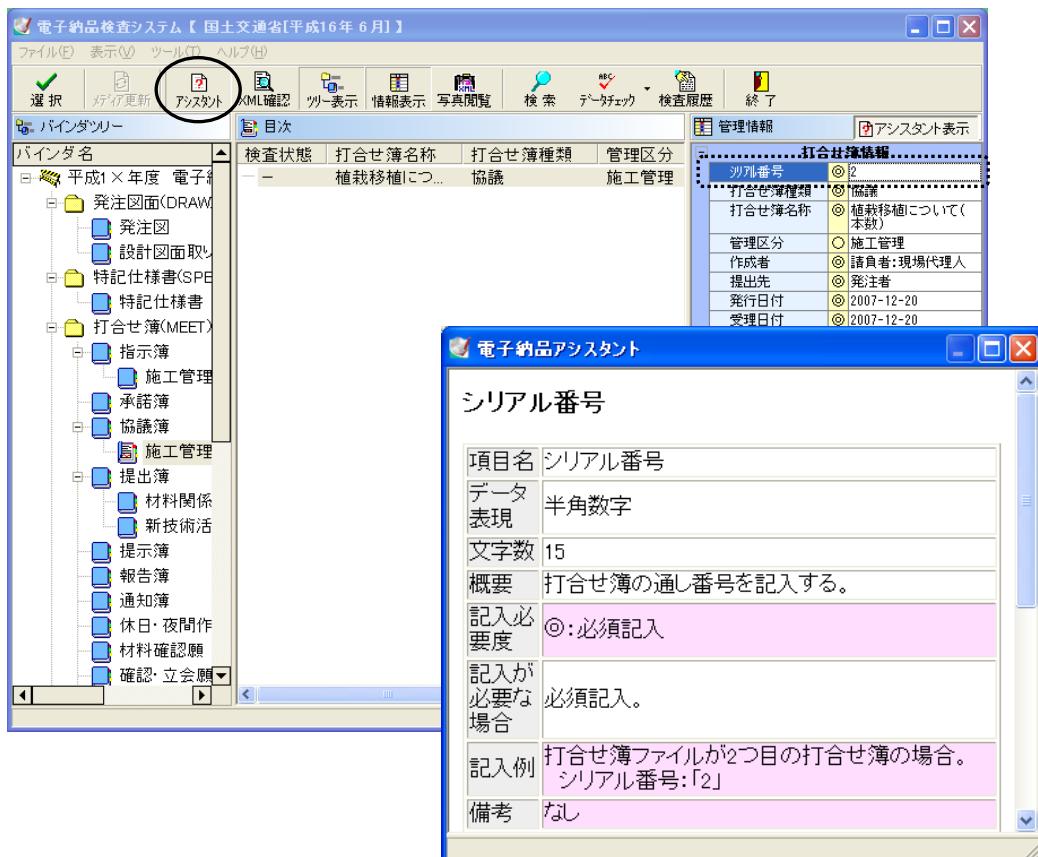
## (B) 書類のXML情報を確認する

書類のXML情報をそれぞれの方法で確認します。

### ① アシスタントを使用して書類ごとのXML情報を確認する

書類ごとのXML情報をアシスタント機能を使用して確認します。

確認する書類のXML情報を選択し、電子納品検査システム画面の「アシスタント」ボタンをクリックします。



電子納品アシスタント画面が表示されます。

重要な項目は、ピンク色で表示されています。また、項目ごと表示されるので、検査の際に参考にしてください。

## ② 管理フォルダごとのXML情報を一覧で確認する

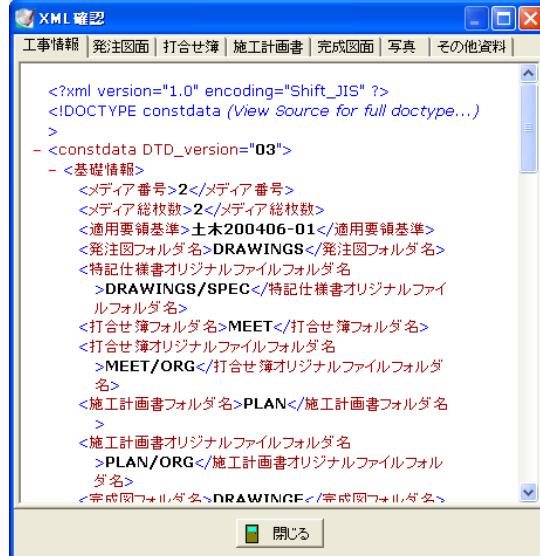
管理フォルダごとのXML情報を一覧で確認できます。ただし、複数枚のメディアに保存されている場合、挿入しているメディア内の情報のみの確認となります。

電子納品検査システム画面の「XML確認」ボタンをクリックします。



XML確認画面が表示されます。

各タブを選択する事で、管理フォルダごとのXML情報を一覧で確認できます。



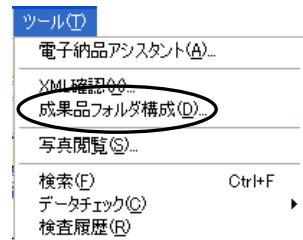
電子納品支援システムのデータ出力の際に、XML情報をスタイルシートで出力する設定を行った場合は、スタイルシートの形式で確認ができます。



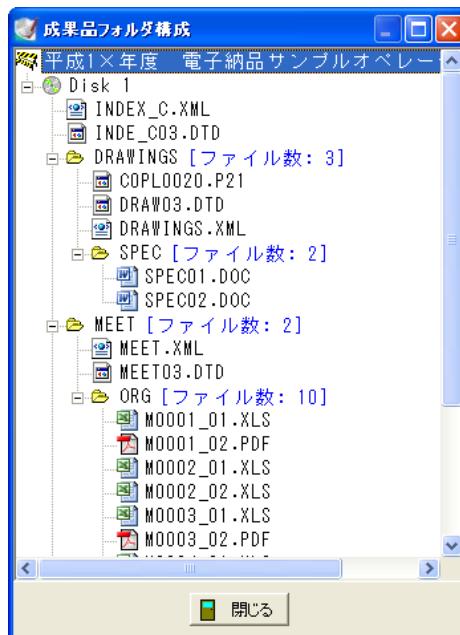
## (C) 成果品のフォルダ・ファイル構成を確認する

読み込んだ成果品のフォルダ・ファイル構成をメディアごとに確認する事ができます。

メニューバーの「ツール」→「成果品フォルダ構成」をクリックします。



成果品フォルダ構成画面が表示されます。



フォルダの構成、そのフォルダ内のファイルの構成を確認する事ができます。

※PHOTOフォルダ内は、ファイル数のみの確認となりファイルは表示されません。

確認が終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして終了してください。

## (D) 写真閲覧で写真（PHOTO）フォルダの内容を確認する

写真閲覧ソフトを起動して、写真（PHOTO）フォルダの内容を確認します。

※弊社写真閲覧ソフト「写管屋XMLビューア」がインストールまたはCDに添付されていない場合や成果品の写真（PHOTO）フォルダにデータがない場合は、「写真閲覧」ボタンはグレー表示となります。

電子納品検査システム画面の「写真閲覧」ボタンをクリックすると、  
写管屋XMLビューアが起動します。



※写管屋XMLビューアは、PHOTOフォルダを選択した場合も表示できます。

MEMO

挿入しているメディアにPHOTO.XMLがない場合、以下のようなメッセージが表示されます。  
メッセージに表示されているメディア番号を確認して、「OK」ボタンをクリックします。

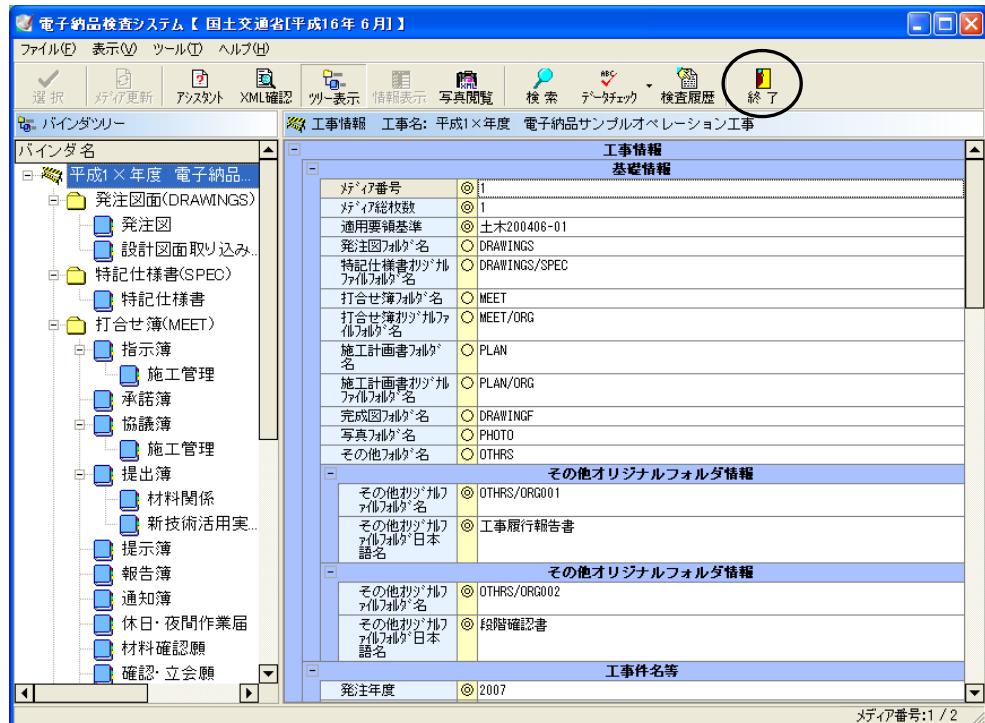


続いて、メディアの交換を行い、電子納品検査システム画面の「メディア更新」ボタンをクリック後、  
再度、「写真閲覧」ボタンをクリックしてください。

## 6 電子納品検査システムを終了する

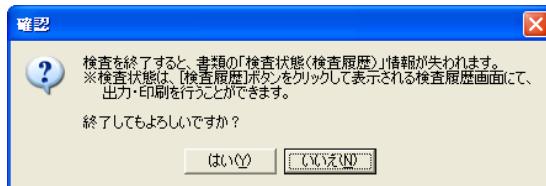
電子納品検査システムを終了します。

電子納品検査システム画面の「終了」ボタンをクリックします。



### ●検査済書類がある場合

検査済書類がある状態で電子納品検査システムを終了すると、確認メッセージが表示されます。



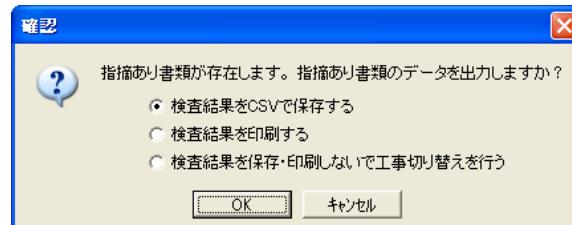
電子納品検査システムを終了すると、書類の検査状態の情報がすべて失われるため、必要であれば情報の出力を行ってください。

「はい」ボタンをクリックすると、電子納品検査システムを終了します。

「いいえ」ボタンをクリックすると、電子納品検査システムの終了を中止します。

### ●指摘あり書類がある場合

指摘あり書類がある状態で電子納品検査システムを終了すると、確認メッセージが表示されます。



現在の工事を再度読み込んでもすべての書類の検査状態が「- (ハイフン)」に戻ってしまうため、指摘あり書類がある状態で電子納品検査システムを終了する場合は、「検査結果をCSVで保存する」または「検査結果を印刷する」のどちらかで出力を行い、記録を残してから電子納品検査システムを終了する事をお勧めします。

選択をしたら、「OK」ボタンをクリックします。

電子納品検査システムの終了を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

## 写管屋 XML ビューア

## **7 写管屋XMLビューアの概要**

「写管屋XMLビューア」は、各種適用基準に準拠するフォーマットで保存された写真データ（PHOTO. XML）を閲覧・検査するためのアプリケーションです。

写管屋のPHOTO. XML形式にて保存されたデータはもちろんの事、各種適用基準に基づいて他社アプリケーションで保存されたXMLデータも閲覧することができます。

また、各写真に対して検査状態（「検査済」・「指摘あり」）や検査コメントを入力する事ができ、それらの情報を出力（印刷・CSV保存）する事ができます。

このアプリケーションは、CD-R等に保存された写真データとともに提出し、閲覧ソフトをお持ちでない方にもご覧いただけるよう、単体のソフトとして動作します。

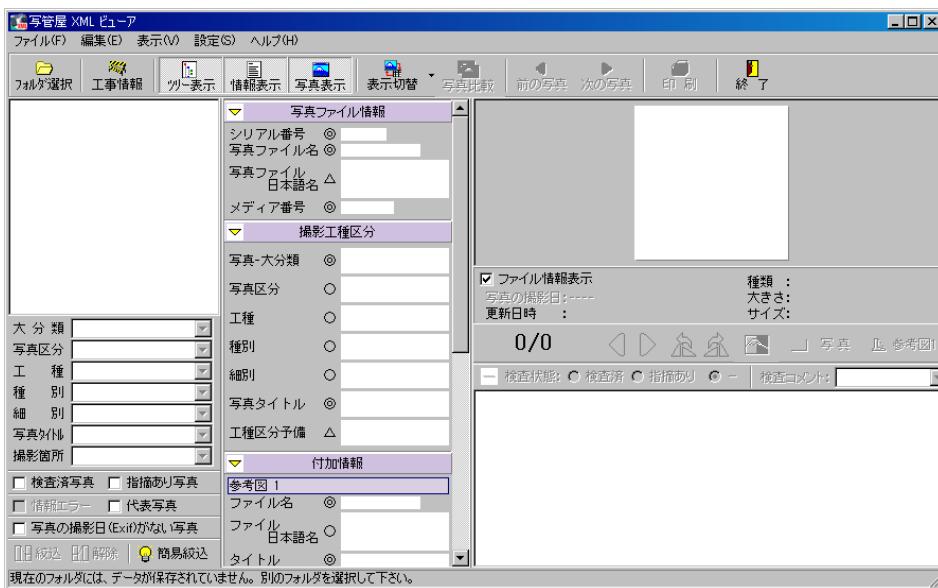
## 8 写管屋XMLビューアを起動する

写管屋XMLビューアを起動します。

Windows のスタートメニューから「プログラム（OSにより異なります）」→「写管屋XMLビューア」をクリックまたはデスクトップ上にある「写管屋XMLビューア」ショートカットをダブルクリックします。



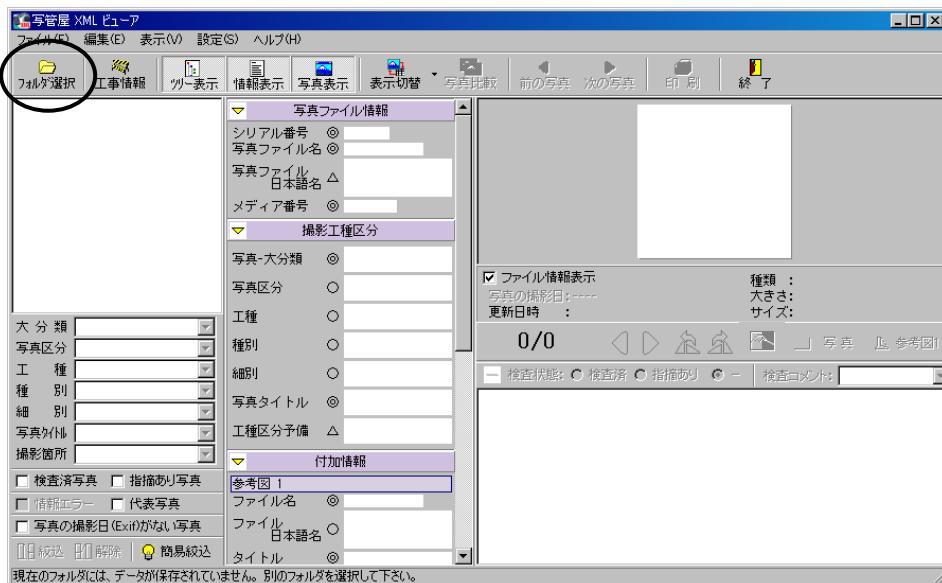
写管屋XMLビューア画面が表示されます。



## 9 フォルダを選択する

閲覧する写真データが保存されているフォルダを選択します。

「フォルダ選択」ボタンをクリックしてください。



フォルダ選択画面が表示されます。

写真データが保存されているフォルダを選択します。

フォルダを指定したら、「OK」ボタンをクリックします。

フォルダ選択を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

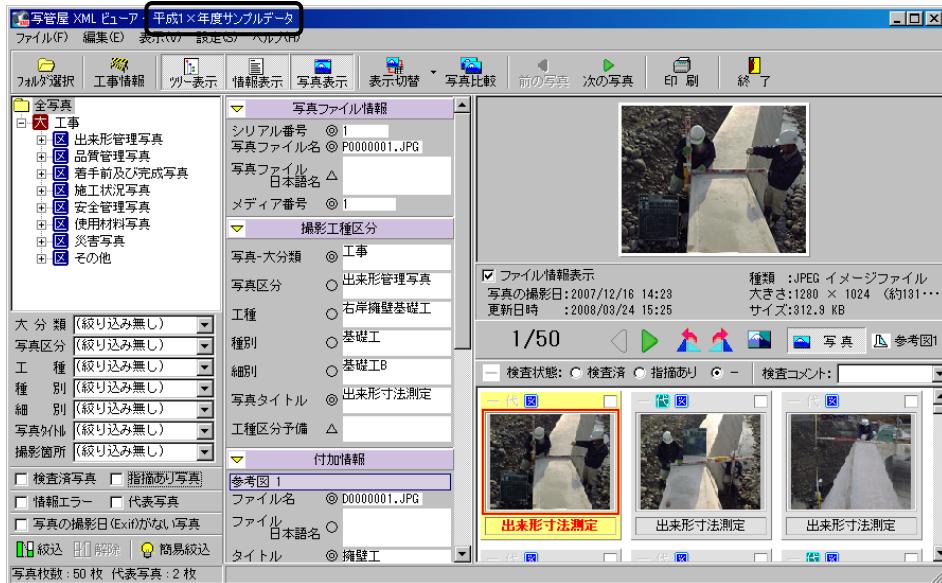


※読み込んだデータと使用している適用基準（案）が異なる場合、以下のようなメッセージが表示され、自動的に使用する適用基準（案）が設定されます。



「OK」ボタンをクリックしてください。

選択したフォルダに保存されているデータが表示されます。



※写管屋XMLビューア画面のタイトルバーに、読み込んでいる写真データの工事名称が表示されます。

# 10 画面を設定する

写管屋 XML ビューアの画面設定を行います。

## (A) 分類ツリー・写真情報の表示

分類ツリーと写真情報の表示／非表示を設定します。

画面の「ツリー表示」「情報表示」ボタンをクリックまたはメニューバーの「表示」→「分類ツリー表示」「写真情報表示」をクリックしてください。



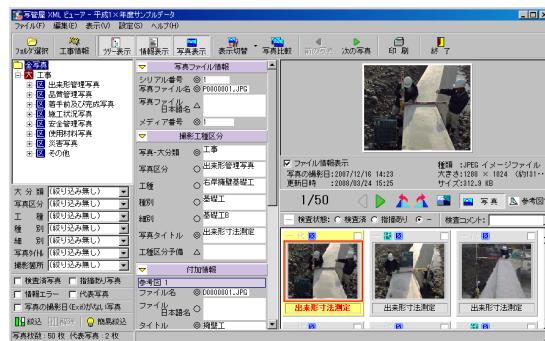
分類ツリーと写真情報のうちどちらか一方を選択している場合は、「分類ツリー・写真情報切替」ボタンが表示されます。



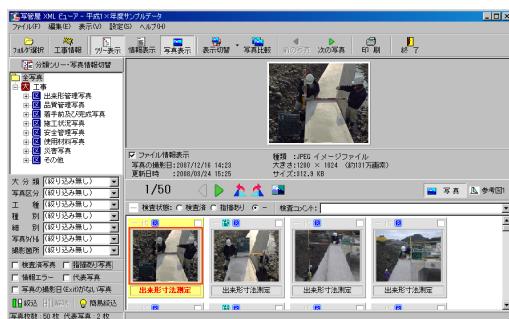
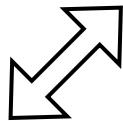
クリックすると、分類ツリーと写真情報が交互に表示されます。

MEMO

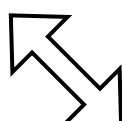
画面表示のパターンを説明します。



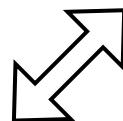
### 分類ツリー・写真情報表示



### 分類ツリーのみ表示



### 写真情報のみ表示



### 分類ツリー・写真情報非表示

## (B) 画面の表示切替

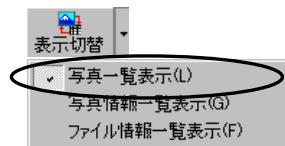
画面表示を切り替えます。

### ① 写真一覧を表示

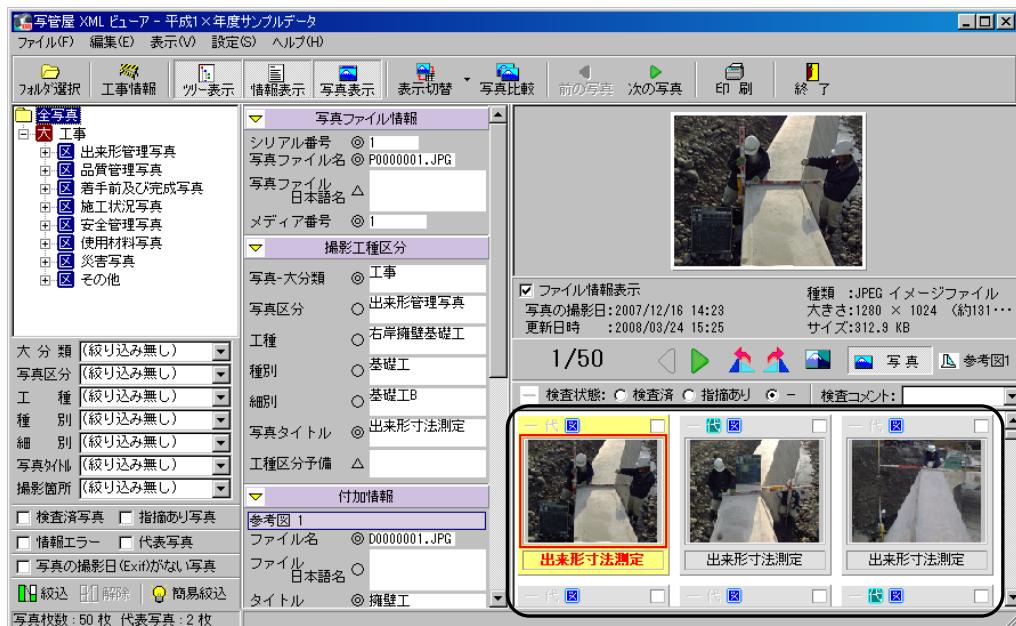
選択している分類の写真を一覧で表示します。

「表示切替」ボタン右の▼ボタンをクリックし、「写真一覧表示」をクリックしてください。

※「表示切替」ボタンをクリックすると、写真一覧画面と写真情報一覧画面、ファイル情報一覧画面が順番に表示されます。



写真一覧が表示されます。

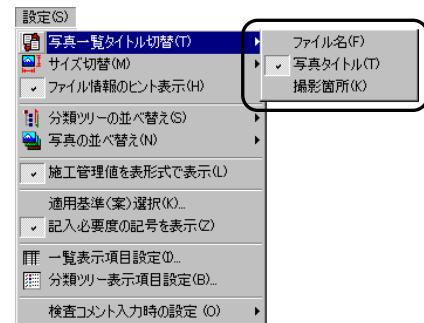


## (ア) 写真一覧タイトル切替

一覧の写真の下に表示されている表示名を「ファイル名」「写真タイトル」「撮影箇所」に切り替える事ができます。

メニューバーの「設定」→「写真一覧タイトル切替」にて「ファイル名」「写真タイトル」「撮影箇所」のいずれかをクリックし、チェックを付けます。

※初期状態は「写真タイトル」に設定されています。



## (イ) サイズ切替

一覧表示されている写真のサイズを変更します。

メニューバーの「設定」→「サイズ切替」から「小」「中」「大」「4枚」のいずれかをクリックしてください。

※初期状態は「中」に設定されています。

※「4枚」を選択すると、写真一覧画面に写真を4枚表示します。



● 大



● 中



● 小



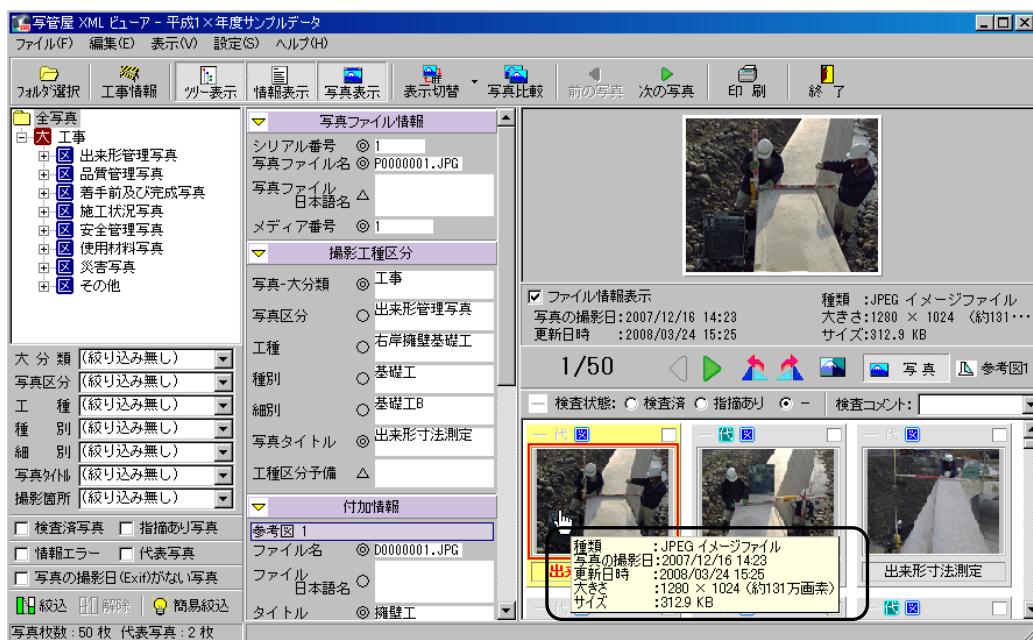
## (ウ) ファイル情報のヒント表示

写真にカーソルを合わせた時にヒントを表示する事ができます。

メニューバーの「設定」→「ファイル情報のヒント表示」をクリックし、チェックを付けます。



以下のように写真にカーソルを合わせると、ヒントが表示されます。



## ② 写真の表示

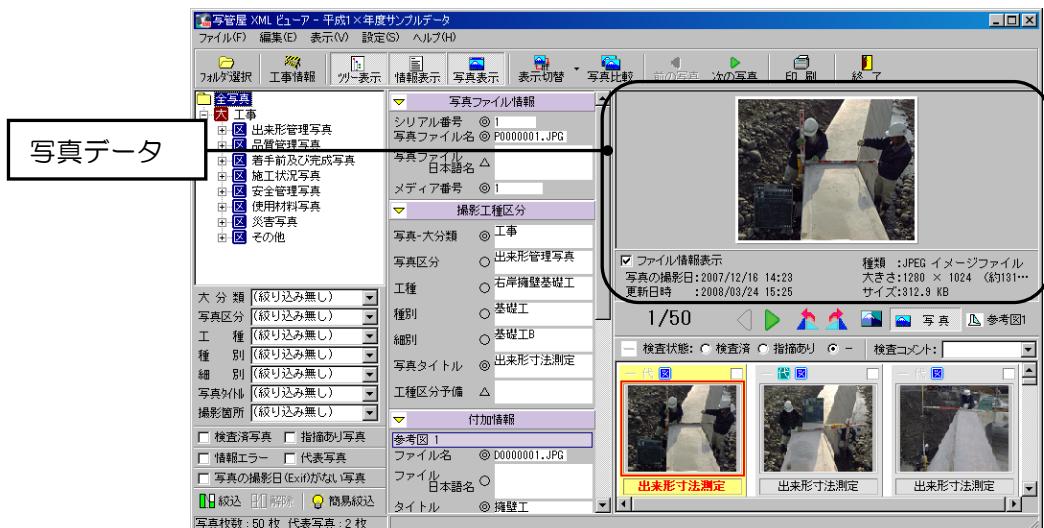
選択している写真データの表示／非表示を設定します。

画面の「写真表示」ボタンをクリックすると、写真データの表示／非表示が交互で切り替わります。

※「写真一覧表示サイズ」を「4枚」に設定している場合は、「写真表示」を行う事ができません。



### 写真データを表示した場合



### 写真データを非表示にした場合



# 11 データを閲覧する

データの閲覧を行います。

## (A) 写真の閲覧

写真を閲覧します。

### ① サムネイルのマーク表示

サムネイルに表示されるマークの説明をします。

検査状態、代表写真の確認、印刷対象の確認をマークの表示で確認することができます。

#### 検査状態

- マークは、検査状態が「検査済」の写真に表示されます。
- マークは、検査状態が「指摘あり」の写真に表示されます。
- 「- (ハイフン)」の場合は、グレー表示されます。



#### 代表写真の確認

- マークは、代表写真に表示されます。
- 代表写真でない場合は、グレー表示されます。

#### 参考図登録の確認

- マークは、参考図が登録されている写真に表示されます。
- 登録されていない場合は、グレー表示されます。

#### 印刷対象の確認

- マークは、印刷を行う写真に表示されます。
- をクリックすると、 マークが表示されます。
- マークが表示されている写真のみ印刷されます。
- ※ マークが表示されているサムネイルは、水色で表示されます。

## ② 写真の確認

個々の写真・写真の参考図を拡大表示して確認します。

確認を行う写真をダブルクリックしてください。



### 前の写真／次の写真 ボタン

表示されている写真の前の写真・次の写真を表示します。

### 写真／参考図 ボタン

写真と参考図の表示を切り替えます。

【50ページ「写真・参考図の表示切替」参照】

### 回転 ボタン

表示中の写真の角度を90度単位で回転させる事ができます。

「回転」ボタンをクリックすると、90度単位で写真が右に回転します。

### 明るさ ボタン

表示中の写真の明るさを「+5」～「-3」の範囲で設定する事ができます。

「明るさ」ボタンをクリックし、表示される一覧から任意の数値を選択してください。

### 表示倍率 ボタン

写真の拡大・縮小を行います。

### 閉じる ボタン

写管屋XMLビューア画面に戻るには「閉じる」ボタンをクリックします。

### 検査状態／検査コメント

検査状態のチェックと検査コメントの記入を行う事ができます。

### ファイル情報表示

チェックを付けると、「写真の撮影日」「更新日時」「種類」「大きさ」「サイズ」を表示します。

## ③ 前の写真・次の写真の表示

表示されている写真の前の写真・次の写真を表示します。

「前の写真」「次の写真」ボタンをクリックしてください。

表示されている写真が切り替わります。



## ④ 写真・参考図の表示切替

写真と参考図の表示を切り替えます。

※「写真表示」が選択されている場合に有効となります。【47ページ「写真の表示」参照】

写真を表示する場合は「写真」ボタンを、参考図を表示する場合は「参考図」ボタンをクリックしてください。



※「参考図」ボタンは、表示中の写真に参考図が登録されている場合に有効となります。

「参考図」ボタンをクリックすると、登録されている参考図を表示します。また、複数の参考図が登録されている場合は「参考図」ボタンをクリックすると、任意の参考図を選択する事ができます。



## ⑤ 写真の回転

表示中の写真の角度を90度単位で回転させる事ができます。



「左に回転」ボタンまたは「右に回転」ボタンをクリックすると、90度単位で写真が回転します。

## ⑥ 写真の比較

2枚の写真を並べて比較を行います。

確認を行う写真を一覧からクリックして選択し、「写真比較」ボタンをクリックしてください。



写真比較画面が表示され、画面左側に選択した写真が表示されます。

比較する写真を画面右側にドラッグし、写真の比較を行います。

※比較する写真を変更する場合は、同様の操作で左右の写真を変更することができます。



### 左に回転 ボタン

表示中の写真の角度を左に90度単位で回転させる事ができます。

### 右に回転 ボタン

表示中の写真の角度を右に90度単位で回転させる事ができます。

### 明るさ補正 ボタン

表示中の写真の明るさを「+5」～「-3」の範囲で設定する事ができます。

「明るさ補正」ボタンをクリックし、表示される一覧から任意の数値を選択してください。

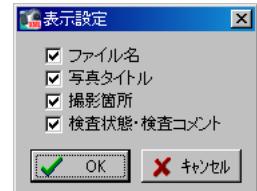
### 検査状態／検査コメント

検査状態のチェックと検査コメントの記入を行う事ができます。

### 表示設定 ボタン

表示する項目を設定します。

表示する項目にチェックを付けてください。



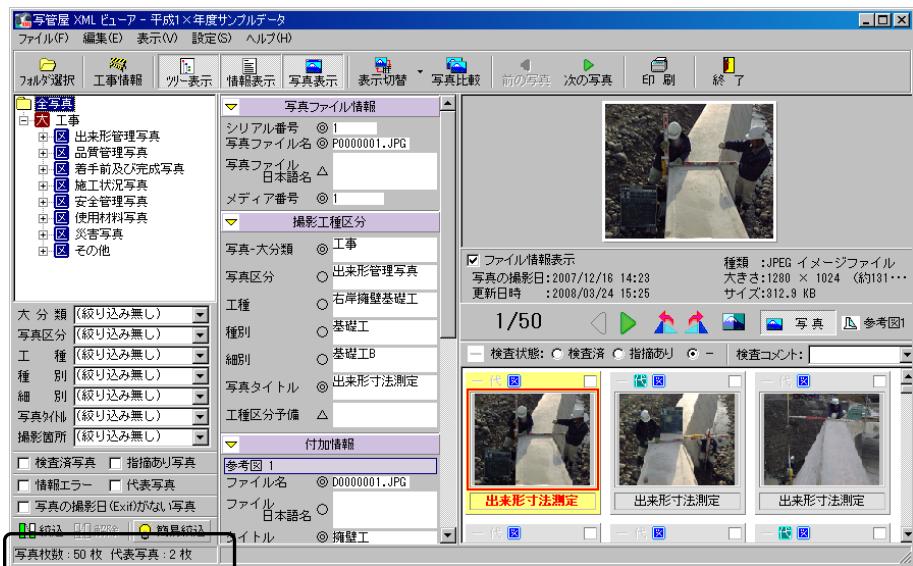
### 閉じる ボタン

写真比較画面を終了します。

「閉じる」ボタンをクリックしてください。

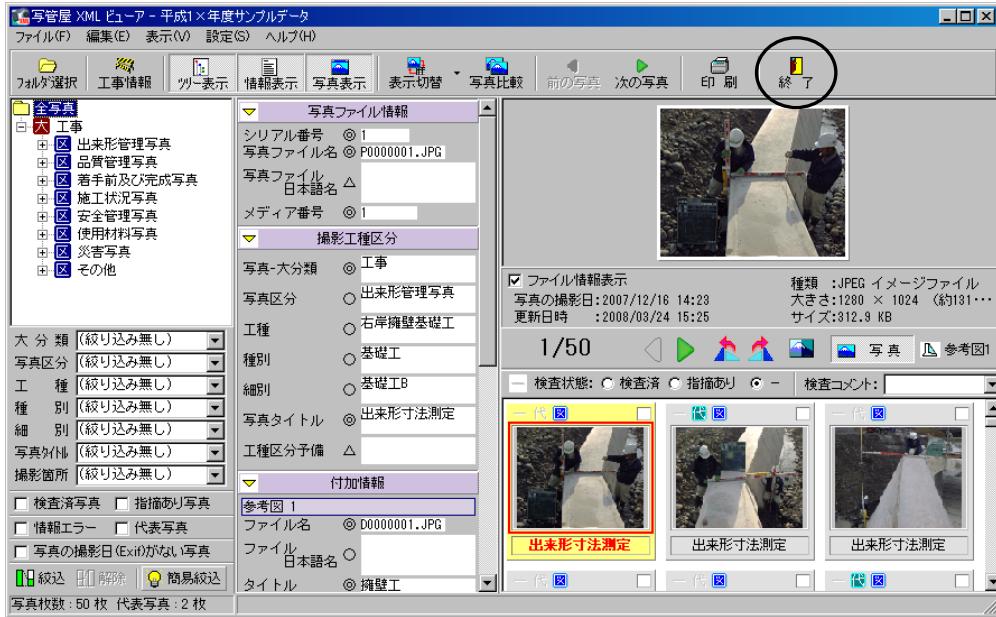
## (B) 登録されている写真の枚数の確認

選択している分類に登録されている写真の枚数を確認できます。



## 12 写管屋 XML ビューアを終了する

写管屋 XML ビューアを終了します。



「終了」ボタンをクリックしてください。



## ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

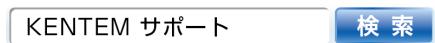
機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDFマニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

### 「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにある  
ショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する



### 【ご注意】

- 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製する事は禁止されています。
- 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更する事があります。
- プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- 使用しているデータは、本書用に作成したものとなりますので、実在しません。
- 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れ等、お気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- 本書の印刷例および画面上の会社名・数値等は、実在のものとは一切関係ございません。

●Windows および Microsoft Internet Explorer は米国マイクロソフト社の登録商標です。

●その他社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。